



### 賀茂高等学校 同窓会 会誌 vol.4

平成24年12月25日発行

賀茂高等学校  
同窓会事務局

東広島市西条西本町16-22  
TEL(082)423-2559

URL  
<http://www.kamo-h.hiroshima-c.ed.jp/>

### 第60回(平成25年度) 賀茂高校同窓会総会 懇親会のお知らせ

**\*日時\***  
平成25年8月4日(日)  
10:30 受付開始  
11:00 開会

**\*場所\***  
グランラッセー東広島

**\*会費\***  
6,000円

**\*当番幹事\***  
S 39年・49年・59年  
H 4年・14年卒

**\*お問い合わせ\***  
賀茂高校 同窓会事務局



### 東京で賀茂高の校歌を

同窓会長 黒川 浩明

賀茂高等学校同窓会の関東支部が設立されました。おめでとうございます。この設立は、東京都世田谷区にお住まいの藤瀬活子さん(昭和37年卒業)のご尽力によるものです。設立の経緯等については後ほどの藤瀬さんの記事でお読みいただきたいと思いますが、藤瀬さんの支部設立への熱意に対し、心から感謝を申し上げたいと思います。

関東支部の設立は、同窓会の念願であり、課題でした。同窓生は、東京、埼玉、千葉、神奈川の都・県で、700名ほど(大学等)に在学中の皆さんを加えればさらに多くの同窓生が)おられます。関東地域で活躍されている皆さんの絆が少しでも深まればという思いとともに、賀茂高等学校についてのご認識が関東地域でもさらに一段と

高まることを願っています。賀茂高等学校の校歌を東京で歌えることは、大変に楽しいことではないでしょうか。関東地域の人々にも我が母校の校歌を聞いてもらいたいものです。また広島にも関東地域の情報や同窓生の消息を伝えていただきたいと思っています。関東地域にお住まいの同窓生の皆さん、是非ともこの支部のもとにお集まりをいただきたいと思っています。この輪を少しずつ広げ、これから大きな波に育ててください。期待しています。そして、この一歩が、やがて同窓会の枠を超えて、広島と関東地域の文化・経済の交流・発展の役に立てばと願うものです。同窓会としては全面的にできる限りの応援をしたいと思えます。同窓生の皆さんのご協力を宜しくお願い致します。

同窓生の皆様方には常日頃から本校の教育推進のために物心両面に亘りご支援いただき厚く感謝申し上げます。107年目を迎えている賀茂台地の伝統校を預かる者としての責任の重さを感じております。ここでは、賀茂高等学校が永く発展が続けられることを念じて所感を述べたいと思えます。県立学校には学校の番号である校番が付けられています。賀茂高等学校の校番は24です。1番の広島皆実高等学校から最後の新設校と言われる総合技術高等学校の126番まであります。県立学校は、平成24年現在、高等学校本校81校に特別支援学校15校と県立中学校1校を加えて97校あります。校番と現存する学校数とは一致していません。その理由の一つとして、統廃合による閉校のために欠番を



### 所感

校長 河原 富夫

生じていることが挙げられます。社会的な問題となつていいる少子化は、学校の統廃合の原因にもなつていきます。

少子化傾向が止まらないことによる大学全入時代となりつつある現状からすると、高等学校及び大学は今後さらに一層二極分化していくものと思われまます。つまり、高いレベルを維持している高等学校や大学とそうでない高等学校や大学とに分かれていきます。

賀茂高等学校の存続の危機を懸念する人は今はあまりいないと思えます。しかし、近い将来において賀茂高等学校が高いレベルを維持し続けている高等学校であるのかどうかを私は大変心配しています。なぜなら、優秀な人材を輩出してきたという伝統の継承が、東広島市内に

近畿大学附属東広島高等学校・中学

校及び広島県立中学校・高等学校という進学校が出現した時点で一変したからです。県民の願いや社会の要請に応えることができなければ高等学校は衰退していきまます。そして問題行動が増え教育困難校となり、最悪の場合には悪循環のシナリオに従つて閉校という事態に至ります。学校が崩れていくのは速いものです。そういうことにならないように、将来社会や地域の情勢を見据えて慎重かつ大胆に学校経営に当たらなければならないと重く考えています。

高いレベルを維持し続ける高校として存続するために、学園都市としての発展していくであろう東広島市の強みを生かした新しい試みにチャレンジしながら、精一杯の工夫・改善を図つて参りたいと考えています。同窓生皆様の一層のご理解・ご協力をお願いし、所感とします。



# 賀茂高校の思い出

## 賀茂高女の日

昭和21年卒 森川 愛子



後列左より2番目が筆者

皆で頑張りました。その時、寝食を共にした友との絆は今でもしっかりと結び

れています。

八月十五日終戦になり、八月十七日広島市へ学徒看護隊として入市しました。その時の状況はとても筆舌では表す事が出来ません。

二十一年の三学期から学生らしい気持ちで授業を受けた思い出は、今の若い方には想像も出来ないものかもしれません。出来る事なら、タイムトンネルに入って、もう一度賀茂高女に入学したい気持ちです。

今生きている幸せに感謝して、いつの日にか別れて行く友との出逢いを大切に、昭和の時代を生きた者の心の拠り所として毎年十月二十一日を「賀茂高女の日」として皆で集って楽しい時を過ごして居ります。

時代も変わりました。若い賀茂高等学校の皆様、新しい今から作って下さい。母校の益々の発展を心よりお祈り致します。

## 西條から賀茂へ

昭和29年卒 反 勝彦

私達昭和29年(1954年)卒業組が入学したのは、賀茂高校ではなく県立西條高等学校という名前の大きな高校でした。普通科もありましたが元々西條農学校と賀茂実科女学校を源流とする職業教育の色濃



昭和29年卒業アルバムより筆者

学校でしたから、例えば家業を手伝うのも授業の一環という趣旨で、当時としては珍しい土曜日曜お休みの、週5日制がとられていましたし、また例えば普通科でも園芸と称する科目があつて、これは必須でした。お陰で施肥に於けるリビッチの桶の原則とか輪作、連作、二期作、二毛作の違いなどの基本概念や、梨の杯状仕立て、葡萄の消毒に用いるボルドー液の作り方などの農業技術も沢山教わって、今でもよく覚えています。

一方、普通科なのに英語の授業も数学の授業も週2時間と、いわゆる進学校のそれとは桁違いのゆとり教育振り、私達は部活にサークル活動にと、それこそ青春謳歌の高校生生活を送っていました。そうそう、サッカー部のある級友は足下にボールを置いて授業中もなんのその、足慣らしに奮闘していたところ、あるときボールが教壇の方へ転がり出して、ちよつとした騒ぎになったのも思い出です。

私はと言えば部活は生物班で、後

に校長になられた多田先生にくっついて、春と秋は帝釈峡や三段峡にまで足を延ばして植物採集に没頭し、夏は夏で包ケ浦や美濃岸根に海生物を求めて標本作りに精を出すといったそれは楽しい日々の高校生活でした。今でも私達の作った夥しい数のフォルマリン浸けのウニ、ヒトデ、カニ、そして植物の押し葉など残っているでしょうか、いけば会いたいものです。

このように、そもそも西條高校は大学進学を目指す処ではなかったのです。当時大学は数も定員も非常に少なく、一方志願者は200万人を超していました。大学への入学は今では考えられないほどの狭き門という状況でしたから、難関大学を目指す近隣の中学生達の内、頭の良い子は広島大学付属高校に、お金持ちの子は修道高校に、気の利いた子は親戚知人宅に寄留という手を使って学区制を逃れ、県立の国泰寺高校や三津田高校にそれぞれ入って行くというのが常識でした。これらの学校はその頃の役所や工場がそうだったように当然の週6日制、英語数学は週5、6時間、しかも補習あり。まあ私達西條高校生は極楽蜻蛉もいとところだったわけ

です。

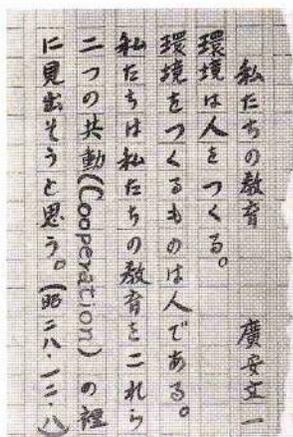
そうした中、降って湧いたように西條高校の分割が告げられました。言葉を代えれば西條農業高等学校と賀茂高等学校の誕生です。それは私達が3年生になる

直前の昭和28年初頭のことでした。

石井四郎治校長先生は大好きだった多くの先生と共に西條農業高等学校の校長に残られ、賀茂高校には新たに廣安文一先生が着任されました。

昭和28年4月冒頭、寺西町の校舎で発せられた廣安校長の第一声は、本校は今後受験校となる。各自銘々目標を定め自分を信じて努力せよというものだったと記憶しています。要するに学校は生徒をその気にさせるだけ、成果は自分でかちとれということだったようで、その証拠に手元に卒業アルバムがありますが、先生はそれに寄稿されて曰く、「環境は人をつくる。環境をつくるものは人である。」としておられます。

さてその日から学校は変わりました。週5日制は6日制になり、英語数学の時間も大幅に増えました。一斉模擬試験が行われ、各自の成績が実名で得点順に貼り出されるようになります。かつての極楽蜻蛉もおちおちしてはいられなくなり、遠距離離通学者の寺西町下宿ブームも起こりました。そんな中、李木先生を团长とする高名受験校の見学会が催され、私もその一員に加えて戴きまし



広安校長の筆 卒業アルバムより

た。行った先は岡山朝日高校と岡山操山高校。朝日はもと岡山一中で、高校生のくせに制帽が角帽でした。教室の後ろに立って黒板を見ると何かSを引き伸ばした字と、Mを横にした字が沢山書いてあつて一瞬英語の時間かと思いましたが。冗談を云っているのではありません。西條高校の2年間に微分、積分など目にしたこともなかったのです。あまりのショックに後の見学は文字通り上の空、何も覚えておりません。報告会で叱られましたから本当です。賀茂高校生となつて1年、もう卒業です。学校の方針に応じて取って難関に挑戦した多くの第一回卒業生の成果は芳しいものではありませんでした。そりやそりでしよう。

でもでもそして1年。国立では東大に3人、その後も合わせて京大に3人、広大には都合20数人あと電気通信大学や横浜国立大などの合格者が生まれ、他方私立の方も中央大学に3人、星薬科大学に2人、あと東洋大学、同志社など有名校に多数の合格者が出ました。分母100人余りでこの成果は先にあげた有名受験校を真っ青にさせたはずです。私達第一回卒業生は斯く頑張りました。その後の賀茂高校はどうでしょう。か。今、賀茂高校を応援しようという声が卒業生の高まつています。賀茂高校は普通校です。受験校です。スポーツ校でも職業校でもありません。卒業生の皆さん、在校生にエールを送りましょう。子弟を賀茂高校に入れましょう。

## 恩師は今…

### 恩師を訪ねて

昭和36年卒 黒川 浩明  
福村 明士

秋の日の午前、2人は、高屋町のご自宅に数学の大谷浩先生を訪ねた。先生は、教師になつて初めての勤務である賀茂高校に、昭和33年から50年まで勤務を受けたのは、もう50年以上前になるが、若くて体の大きな先生が、手の指を白墨の粉で真っ白にしながら、太い、力強い声で、精神的な授業をされていたのを、ついこの間のように思い出す。われわれの年度の卒業アルバムを用意していただいております、沢山の懐かしいお話を聞かせていただいた。



中央が大谷先生

その頃の賀茂高校の印象を次のようにお話しされた。賀茂高

校が独自の目標を形づくりつつあった頃で、自分も若く、放課後、ソフトボールをするなど生徒と良く一緒に遊んだ。生徒も、昼の時間などによく質問に来た。授業で生徒の質問に立ち往生したこともある。勉強では塾に行かなくても良いようにと意気込んだこともある。賀茂高校は農村をバックにしたおらかな学校で、同僚の先生にも恵まれ、古き良き時代、幸せな時代だった。

先生は、公立高校を退職後、安田高校の教師をして、70歳で全てを退職された。教師生活についてお聞きすると、「悔いはないが、教師をするためには、もつともつ勉強しなければならぬいことがある。その意味で、生徒には申し訳ないことをしたとの自戒の気持ちがあり、今でもまだ勉強をしている」と話されていた。なお、先生は昭和28年卒の賀茂高校同窓生でもある。

現在は、奥さんとともに、自宅で105歳になられるお母さんの介護をしながら、農業を続け、草刈り人生を送っている、と笑っておられた。真っ直ぐで、豪快で、誠実な、昔の印象そのままであり、それを、生涯を通じて全うしようとされているようであった。

## 教師としての思い出と近況

平田 晟

大学を卒業して、初めて赴任したのが賀茂高校でした。(昭和36年〜42年)学校の周囲は田んぼで、クラブ活動を終えて帰る頃には、蛙が鳴いてなんと田舎の学校に来たものだと思いましたが、2年目には担任をしました。が、どのような学級経営をしていいのやら、手さぐりの状態で困惑した時期もありました。



平田先生

キー教室を実施した。また、運動会では、初め

での試みとして、3年生全員によるマステゲーム(曲に合わせて男子タンプリング・女子ダンス)を演技し、保護者や地域の人々から称賛を得たことなど思い出しました。

平成10年3月教師生活にピリオドをうち、広島立総合体育館(グリーンアリーナ)に6年間勤務し、その後、料理教室に7年通い時に腕をふるっています。

現在は、週4日間近くのスポーツジムで体力維持のため、トレーニングに励み、また、友人や教え子とゴルフをし、特に賀茂高OBの戌亥会(昭和40年卒)の年4回のゴルフコンペには、同級生気分に参加させてもらい楽しんでいきます。

振りかえってみて、賀茂高校での多くの人との良き出会いが、今も私の人生の支えとなっています。



第15回卒業(昭和39年卒)と前列中央が平田先生

賀茂高校の記念碑を訪ねて

### 西島嘉六先生の 顕彰碑について



昭和29年卒  
鳴尾 善彦  
(旧職員)

母校本館の南側に堂々とした石碑が立っています。表に西島先生の碑と銘打たれています。母校創始者の顕彰碑です。裏面には碑文が全文漢文で彫り込まれています。当時の西条町長土肥岸太郎氏が友人代表として起草されたもので、これを書き下した文が母校創立八十周年記念誌に載っています。また、百周年誌にも再録されていますので参考にしてください。以下は筆者の解釈を加え、要点を記します。

西島君は賀茂郡の出身で、若くして宇都宮流山に学び、帰郷して西条小学校に奉職した。努力家で博識、人望がある。君が日頃主張していたことは、世の文化を隆盛にするには、男子は小学校から中学に進むが、女子の場合、中等教育を受けることは大変難しい。これを何とかしなければならぬ。このように憂いて、明治四十一年四月、奮然として西条小学校を辞し、独力で(私立)西条女学校を創立した。経営には大変な苦勞を重ね、巨額の私財も投じた。これが軌道にのり、郡内女子中等教育の発展を見、実に広島県立賀茂高等女学校の前身となったのである。君は資性篤実にして、身辺を飾

らない。教育に専念すること三十二年。この間、教え子達はその徳に浴し、地域住民も恩に感じている。公私を問わず各種団体から君の功績を称える表彰は数知れない。

この碑は私立西条女学校があった西条駅北側の教善寺西側に、永らくひっそりと佇んでいました。西条駅北線(駅前広場)街路整備事業のため、二〇〇七年(母校百周年の翌年)五月、本校内に移設され、正に日の目を見たのです。

なお、碑文中、明治四十一年四月私立西条女学校が創立されたように書かれています。正確には明治三十九年(一九〇六年)に認可設立されており、その年五月十五日に第一回生が入学しています。明治四十一年は、西島先生が初代校長として就任した年でした。いづれにしても、偉大なり西島嘉六先生!と声を大にして称えたいと思います。



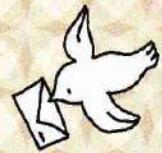
賀茂高を卒業して2年目から広島で下宿生活を始め、卒業後は名古屋で、広大に赴任後は高陽町でそれぞれ8年過ごし、統合移転完了の2年前に西条に戻って今年で20年となりました。



昭和45年卒

川崎 信文

### 故郷で勤める



## 活躍する 同窓生たち

な再会があり、なにかと助けてもらっています。学内の教職員にも、「実は私も」という賀茂高OB・OGが少なくありません。

日頃から、進路に迷うゼミ生には「親孝行路線」と称して故郷就職を勧めています。これまで私のゼミに所属した学生さんは二百数十人に及びますが、元々公務員志望が多いこともあって、その帰還率は70〜80%となっています。

今日、大学はこぞってグローバル化を唱え、学部でも東京、そして世界への雄飛を学生に勧める同僚もいます。しかし私のように、西条にやってきた学生さんを親元に戻すことを使命と心得る教員もいてよいでしょう。最終的に進路を選択するのは、学生自身ですから。

数年前のある日、大学前の並木道を歩いていたら、「おい、かわさきーっ!」と呼ぶ声が。視線を上げると剪定作業中の、高校同期のM君。互いに交わした言葉は、元氣かー?、でした。

(広島大学大学院  
社会科学部 教授)

### スキーと私

昭和56年卒 廣川 洋一



私がスキーと出会って、半世紀が過ぎようとしています。父親の影響で、物心つく前からスキーに親しんできました。とは言っても、当時は木のスキーに長靴のブーツを紐でくくりつけて、ちよつとした坂道を転げ落ちるようなものでした。それでも幼い子供には、印象が強烈だったに違いありません。その証拠に、小学校の卒業文集に記した将来の夢は「プロスキーヤー」でした。スキーをやりたいという強い思いはありました。私は市内の中学校、そして賀茂高校に進学し、当然学校にはスキー部がなかったため、仕方なく剣道部員となり練習に励みました。賀茂高校を卒業した私は、広島大学に進学し、幼い頃の夢をかなえるため、迷うことなくスキー部に入部し、夏はスキーのための資金稼ぎ、冬は山にこもってスキーに熱中しました。大学時代は、これといった成績は挙げられませんでした。4年間スキーに熱中するあまり、人よりも長く大学に在学したため、6年間練習だけは熱心に続けました。そして、無事?

大学を卒業し、東広島市役所に採用になった年に、初めてスキー国体の広島県代表として選出され、以来、約25年間の間に14回も国体に出場させていただき、そして今も現役選手として頑張っています。

周りの国体選手は、みんな雪の多く降る地域の出身で、小さいころからスキーに親しみ、選手として活躍してきた人ばかりで、雪のない東広島の出身である私は、みんなに比べるとハンディキャップがあるのかもしれない。しかし、そんなハンディキャップは、常に向上心を持ち、トレーニングを続けることで克服できると思うし、事実、克服してきたと思っています。

最近、雪なし地域の出身というハンディキャップに加え、年齢というハンディキャップも加わり、なかなか国体選手として選ばれない日々が続きましたが、今年の岐阜国体には、5年ぶりに出場することができました。そして、今も国体出場を目指して、トレーニングを続けています。「継続は力なり。練習は裏切らない。」この言葉を胸に、これから



も国体に出場できるように、また、国体で良い成績が出せるよう練習に励んでいきたいと思っています。  
(東広島市水道局工務課 課長補佐兼計画係長)

**現場から報告です!**

昭和59年卒 佐々木 英基



賀茂高に入学したのは約30年前。今はNHK広島局のディレクターとして番組を作っています。

最近ではドキュメンタリー「除染された故郷へ」ビキニ核実験・半世紀後の現実」を作りました。思い起こせば賀茂高では「平和学習」が盛んでした。もしかしたら、そのとき学んだことが仕事の「背骨」になっているのかも知れません。46歳になり、同期で入社した同僚たちはほとんど管理職になっていますが、僕は現場が好きで、いまだに世界中をウロウロしています。韓国、中国、フィリピン、ミクロネシア、マールシャル諸島、ドイツ、ウクライナ、ロシア、アメリカ、いろんな国に行きました。外国での撮影はいつもトラブルだらけ、「これで番組になるのか?」と毎回苦しむことになるのです

が、放送が終われば性懲りもなく新しい企画を立てています。

ところで、番組を制作する際は、いつも膨大な情報を集め、その中から厳選した情報だけをお伝えしています。「涙を吞んで割愛」する情報がたくさんあります。もつたいないので、最近では取材内容を本にして出版しています。「ランドラッシュ」激化する世界農地争奪戦」(新潮社)という本を書いたので、良ければ図書館などでお手にとってください(宣伝のようで恐縮です)。「ヒリヒリ」するような世界の食料事情がわかります。そして、後輩の皆さん、もし僕のような仕事に興味があったら気軽にご連絡ください。では、賀茂高の発展を祈っています!  
(NHK広島・ディレクター)

**「迷った時は、どきどき わくわくする道」**

平成15年卒 濱長 真紀

賀茂高校生活は、ソフトボール色の3年間だった。家には父が作ったパッティング用のネットがあり、ソフトボールが大好きだった。

大学に入学し、野球を始めた。一球の重みと、仲間との絆。苦しいことばかりだったけれど、「続ける」ことの大切さを知った。大学4年の夏、部活を引退して心が空っぽになった。思えば7年間ずっとグラウンドにいて白球を追

いかけた。引退した次の日、沖縄行きの飛行機に乗った。どこでもよかった。ただ、自分を180度変えてくれるような人に出会いたくて羽田空港に向かった。どこかで出会った誰かが言っていた。

「自分の進む道に迷った時は、一番どきどき、わくわくする道を選びなさい。」中学生の頃から青年海外協力隊に参加したかった。きつかけは、母が何気なく私に渡した一冊の本。その中に書いてあった「青年海外協力隊」という文字。そして、広島で毎年8月6日に行われる「平和学習」。テレビに映し出される最貧国の子どもたち。ずっと心のどこかに引っかかっていた。就職先も決まっていたけれど、「自分を試したい」それが一番の理由だった。

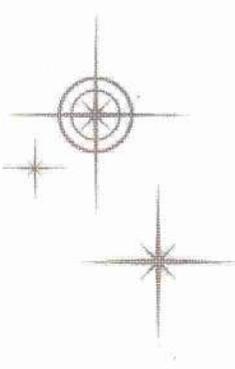
その後2008年からの2年間、カリブ海に面したベリーズという国の小さな村で、子どもたちに体育を教えた。そこで村のみんなに愛してもらい、幸せをいっぱいもらった。道を歩くとご飯に呼んでくれる。そのおかげで8キロも太ってしまった。

そして、この2年間自分の弱さを知り、自分自身と向き合った。日本に帰ってきてから、生きていることが楽しくて仕方がない。少しシンプルで少しだけパワフルになった気がする。先日賀茂高校から、講演の話を頂

いた。一生懸命に聞いてくれた後輩のみんな。



私の生きた27年間で伝えられることは限るとは限られていますが、誰かの心に少しひっかかって、何かのタイミングで一瞬思い出してもらえたら。自分が正しいかどうか自信はない。けれど自分が進んできた道に後悔はない。大した人間ではないし、自分がするより人から何かしてもらおうほうが何倍も多い。いつも人との出会いで、私は成長させてもらっている。家族や友人、恩師。出会う人全てに、感謝の気持ちを忘れずゆっくり歩んでいきたい。私と出会ってくれてありがとう。  
(広島市JICAデスク 国際協力推進員)



## 「県立賀茂高校同窓会」関東支部の立ち上げ！

東日本大震災以来、私たちには金銭的な繋がりよりも、精神的な人間的な「絆」を大切に  
する風潮がより芽生えてきたようです。

東京の「広島県人会」の最近の盛況もその表れのような気がします。それに名簿で在京  
同窓会は47校もあると知り驚いております。しかし、この47校の中に私たちの「県立賀  
茂高校同窓会」がないことを知り、私はこのままではいけないと思いました。故郷の絆  
が大切だとみんなが思っているときに、故郷の高校の在京同窓会がないとは！

そこで、私は、以下に書くような、いろいろな方々の「縁」を手繰って、「賀茂高校同窓会」関東支部を立ち上げる  
ことにしたわけなのですが、ここで、その経過を私事も含めて、ご報告させていただきます。

現在私は(学)松蔭学園事務局に勤めており、ここ3年ほどは世田谷区の働くお母さんたちへの児童支援制度  
にも協力して、ある働くお母さんのお子さんを芦花小学校まで迎えにいくというお手伝いをしていました。  
小学校に行くたびに、そこでまとめ役をなさっている年配の男性とすれ違って会釈をしていました。

昨年、賀茂高校の同窓会があった時、会長の黒川さんに在京同窓会の有無を伺い、在京同窓会の立ち上げを検  
討したい旨お話ししましたら、快いご返事をいただき、「その件なら梅原さんに電話連絡してみたらどうですか」  
と紹介された方が、実は芦花小学校ですれ違っていた方だったのです。電話でお話をさせていただきながら、私  
はその奇遇に驚くと同時に3年余りも挨拶をしていた方が賀茂高校の同期の梅原さんだったことに驚き、これ  
こそ「縁」だなあと感激をし、ますます「賀茂高校同窓会」関東支部の存在の必要性を感じました。

そのようなことから、今年の5月22日(スカイツリーオープンの日)に「県立賀茂高校同窓会」関東支部を立ち  
上げました。個人情報保護法などの関係上、各方面の名簿が使えないので、身近な人への声かけからはじめたり、  
「東京広島県人会」の名簿の在京同窓会一覧にも掲載した結果、河内出身の笹川さんから早速お手伝いさせて下  
さいとお手紙をいただいたりなど、現在20人位の方々から承諾をいただいたところです。

このような経過で動き始めたばかりの「県立賀茂高校同窓会」関東支部でございますが、どうかご賛同なさる  
方は以下にご連絡くださるようお願いいたします。お待ちしております。



連絡先

〒156-0057 東京都世田谷区上北沢1-14-5-503 TEL・FAX 03-3306-6232  
メール f\_katsuko13@ybb.ne.jp (fの次はアンダーバー)  
代表幹事 藤瀬活子(昭和37年卒)



### 昭和33年卒業 同窓会

平成23年11月9日(水)東広島市「暖流」に  
おいて、昭和33年卒の同期会を行いました。  
ここ20年あまり毎年実施しています。  
今年の参加は33名でした。同期の方、来  
年の参加をお待ちしております。

### 賀茂高等女学校 同窓会

平成24年10月21日(日) ホテルグランヴィア広島で  
賀茂高等女学校同窓会を行いました。

平成元年より毎年10月21日を「賀茂高女の日」と決  
めており、葉書きでの案内などはしません。つどえる  
者で昔を懐かしみ、母校の発展を喜んでいます。



### 同期会・支部会等の 支援金について

賀茂高校同窓生の同期会や支部会等を開催する時は、事務局から支援金と  
して1万円を交付します。これから同期会・支部会・同窓生職場会等予定  
されている場合は事務局にお問い合わせください。



同期会・クラス会・支部会だより  
— 同窓会ホームページから

# 学校の近況報告

## クラブ活動を訪ねて



### 美術部

美術部は今年度に入って、数々の賞を獲得することができました。広島県高等学校総合体育大会のポスターの部では、特選1席（ポスター採用）に選ばれました。夏に行われた広島県高等学校美術連盟第27回実技研究大会の水彩の部では、最優秀賞を手に入れました。また、穴吹の高校生デザイン大賞でも、大賞に選ばれました。そして、先日行われた広島県高等学校絵画彫



刻コンクールでは奨励賞を獲得し、さらに、平成25年度全国高等学校総合文化祭美術・工芸展への出品が決定しました。

このように、賀茂高校の美術部は例年強さを増し、今年はずいぶん全国大会へ出品を決めることができました。今年度の春に掲げた、「密度の濃い1年にする」と言う目標は、これだけ多くの大会で「1番」に選ばれることで達成できているのではないかと思います。これから冬、そして春にかけての残りのコンクールも、「1番」を取れるように頑張ります。

### 男子ソフトテニス部

男子ソフトテニス部は毎日試合で勝つための練習に取り組んでいます。練習時間も短く、コートの数も2面しかないという環境の中でいかに試合を想定して密度の高い練習をするかというのが日々の練習の課題となっています。今年の県新人大会の団体戦では、2度の中国大会をかけた試合に負け、6位という結果に終わってしまいました。この大会で個々の課題も見つかり悔しさも味わったので、これから春の総体に向けて練習を

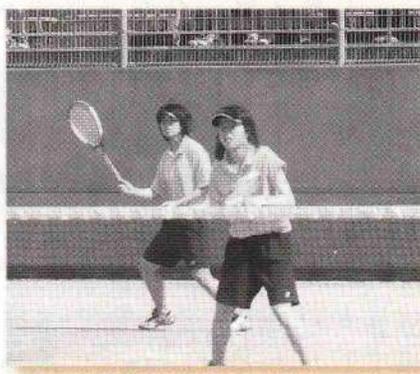
積んでいこうと思っています。これからの応援よろしくお願いします。



### 女子ソフトテニス部

こんにちは。私たち女子ソフトテニス部は、1年生11名と2年生8名の合計19名で活動しています。卒業生の先輩方にはおなじみと思いますが、旧体育館に隣接している格技場の前にある2面のテニスコートを使って日々練習に励んでいます。テニスコートは2面しかなく、また男子ソフトテニス部と共用しているので、土日を除く平日は、男女ともに2日しかコートでの練習ができません。しかし、そんな悪条件にも挫けず、男女ともに広島県総合体育大会へは毎年団体戦と個人戦で出場しています。すべての運動クラブの最終目標は、全国大会（インターハイ）へ

出場することですが、どのクラブもなかなか全国への切符を手にすることができません。特に女子ソフトテニスでは、全国優勝したところのある翔洋高等学校（旧女子商）、鈴峯女子高等学校、清水ヶ丘高等学校などの強豪校が県内にひしめいていますのでなかなか大変です。しかし、夢を諦めず、いつの日かインターハイ出場の吉報を皆様にお届けできるようこれからも、「一球入魂」の気持ちで忘れず日々精進していきます。学校へ来られることがありましたら、是非ともテニスコートの方へ足をのぼして頂いたらと思います。これからも応援よろしくお願いします。



### サッカー部

僕たちサッカー部は2年生11人、1年生9人、マネージャー4人で活動しています。サッカー部の部員は、高校から始めた初心者から小・中学校からの経験者までいます。

サッカーを楽しむ時は楽しんで、真剣に練習する時は真剣にやるというメリハリをつけて、今年のサッカー部のチームスローガンである「意志堅固」最後までやりぬく・我慢強く乗り越えるのも日々の練習を頑張っています。9月の県選手権では、全力を出し切り最後まで戦いましたが、残念ながら目標であった1次リーグ突破はできませんでした。ですが、指導して頂いた顧問の先生、僕たちを応援してくださった保護者や多くの方々に感謝して次にある新人戦では、まず初戦突破を目指して頑張っていきます。これからも応援お願いします。



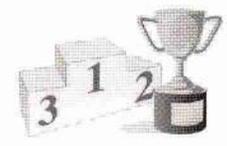
### 平成24年度クラブ活動結果報告

- 美術部**
- 広島県高等学校総合体育大会ポスター、バジデザインコンクールポスターの部 特選1席(ポスター採用)
  - 第91回全国高校サッカー選手権大会広島県大会大会プログラム表紙デザイン 特選(採用)
  - 2012 高校生デッサンコンクール 奨励賞
  - 広島県高等学校美術連盟第27回実技研究大会 水彩の部 最優秀賞
  - 高校生デザイン大賞(穴吹) 大賞
  - 広島県高等学校総合文化祭 絵画彫刻コンクール 奨励賞(次年度全国総合文化祭美術工芸展へ出品決定)
- 吹奏楽部**
- 第35回広島県アンサンブルコンテスト 打楽器四重奏 金賞
  - 第35回全日本アンサンブルコンテスト中国大会 広島県代表
- 書道部**
- 平成24年度広島県高等学校書道連盟席書大会・研修会 奨励賞
  - 天満書道祭 学校賞
  - 全高書研中国地区展 NHK賞・会長賞

種目	出場人数		
	男	女	計
陸上競技	16	18	34
競泳	2	2	4
新体操		7	7
登山	2		2
ハンドボール	15	15	30
バレーボール	20	14	34
ソフトテニス	16	10	26
卓球	8	6	14
ソフトボール		16	16
柔道	4		4
剣道	6	1	7
アーチェリー	5	1	6
総計	94	90	184

種目
新体操
女子卓球
男女水泳

種目
女子卓球
女子水泳



### 過去3年間の進路実績 (平成21年度～23年度卒業生)

国立大学	合格者数			公立大学	合格者数			県外私立大学	合格者数			県内私立大学	合格者数		
	21	22	23		21	22	23		21	22	23		21	22	23
平成21～23年度→	21	22	23		21	22	23		21	22	23		21	22	23
広島大学	10	11	12	県立広島大学	13	13	16	中央大学			1	比治山大学	8	4	1
愛媛大学	9	5	10	広島市立大学	10	10	3	日本大学	1	1		広島経済大学	18	17	17
山口大学	4	7	2	尾道市立大学	4		1	明治大学	1		2	広島工業大学	35	27	22
大阪大学	1			都留文科大学	2	1	1	関西大学		5	1	広島修道大学	43	73	54
横浜国立大学	1			香川保健医療大学			1	立命館大学	5	2	3	広島女学院大学	24	28	22
島根大学	1	3	1	北九州市立大学	1	1	1	同志社大学		2		広島国際学院大学	2	5	3
和歌山大学	1			下関市立大学	2	5	1	関西学院大学	2	2	1	広島文教女子大学	9	4	6
岡山大学		1		福山市立大学	2	1		龍谷大学	1	2	4	福山大学	4	13	3
大分大学	1			山口県立大学	1			神戸学院大学	2		6	安田女子大学	37	25	38
鳥取大学		2	1	宮崎公立大学		2		岡山理科大学	7	3	1	広島国際大学	59	52	41
東京外国語大学		1		その他	5	8	3	川崎医療福祉大学	9	5	2	日赤広島看護大学	3	5	4
佐賀大学	1							福岡大学	3	6	2	広島文化学園大学	5	5	8
高知大学			3	水産大学校		1	3	九州産業大学			4	福山平成大学	1	4	3
鳴門教育大学			1	防衛大学校	3			東海大学			6	広島都市学園大学	4	7	4
香川大学		1						帝塚山大学			3	近畿大学工学部	18	43	35
								京都女子大学	2			エリザベト音楽大学	1	2	

- 短期大学(県内)**
- 安田女子短期大学
  - 比治山大学短期大学部
  - 鈴峯女子短期大学
  - 広島文化学園大学短期大学部
  - その他
- 専門学校(県内)**
- 呉医療センター附属呉看護学校
  - 呉共済看護学校
  - 広島市立看護専門学校
  - 厚生連尾道看護専門学校
  - 広島美容専門学校
  - 広島情報専門学校
  - 広島高等歯科衛生士専門学校
  - その他
- 就職**
- 公務員(広島県警察)
  - 公務員(東広島市消防)
  - 陸上自衛隊
  - その他

**振り込め詐欺にご注意を**

同窓生の実家を狙った振り込め詐欺事件が発生しています。電話で、子どもを装い、「風邪をひいている、携帯電話を替えた」などと言いつつ、理由をつけて現金の振り込みを要求してくるケースです。電話があったら、ただちに家族や警察に相談するなどし、くれぐれも被害に遭わないよう充分に注意してください。

**第59回総会・懇親会の報告**

平成24年8月5日(日)11時より第59回同窓会総会・懇親会が125名の出席のもと、グランラセーレ東広島において盛大に行われました。

今年度の当番幹事は、昭和38年・48年・58年・平成3年・13年卒でした。懇親会では、ビンゴゲームや恩師や同窓生との会話を楽しみました。最後は校歌を歌って昔を懐かしみました。



**編集後記**

9月に始めた会誌の編集作業も秋の深まりとともに、まとめの段階を迎えています。今回も、勝手に原稿作成のお願いをさせていただきましたが、快くお引き受けいただき、心のこもった文章をお寄せいただきました。ご協力、大変にありがとうございました。おかげさまでいろんな思いの詰まったものにできたと思っています。また、本同窓会に関東支部が設立されたのは、本当に嬉しいニュースでした。これから関東支部の活動がさらに拡大し、会誌に関東地域の情報も掲載できることと大いに期待をしています。

現在の高校生の活動状況もご覧ください。後輩たちも、頑張り、成果を上げています。今後とも応援、支援をよろしく願っています。

前回号から会誌を全国の同窓生に配布させて頂くこととしています。この会誌をご覧いただき、日頃忘れていた高校生活について、なにかを思い出していただければ幸いです。今後とも、皆さんのますますのご活躍、ご健康を心からお祈り致します。

**同窓会事務局より**

平成25年1月に会員名簿を改訂して新しく発行することとし、24年4月以降、皆様宛てに登録内容の確認や予約購入のご案内などをさせていただきました。皆様のご協力をいただき、おかげをもちまして、予定通り事業を進めることができました。本当にありがとうございました。

**会員名簿発行へのご協力にお礼**

平成25年1月に会員名簿を改訂して新しく発行することとし、24年4月以降、皆様宛てに登録内容の確認や予約購入のご案内などをさせていただきました。皆様のご協力をいただき、おかげをもちまして、予定通り事業を進めることができました。本当にありがとうございました。

